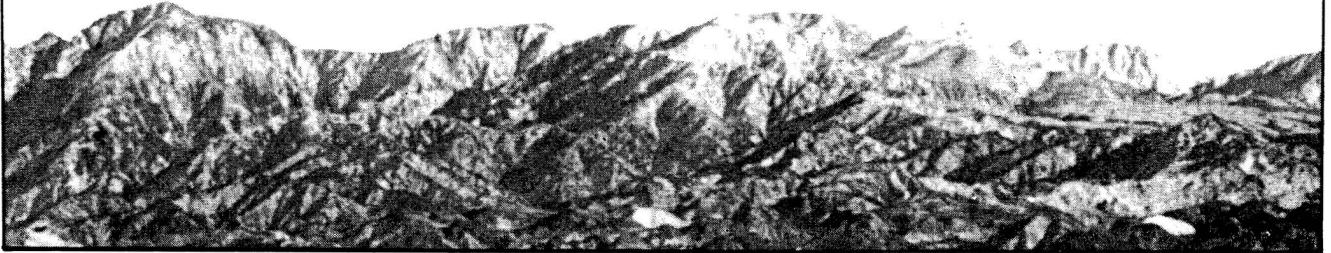


# 富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第299号

## 目 次

関係法令	2	学内レクリエーション 〈野球大会〉	7
学内規則	2	〈庭球大会〉	7
富山大学理学部規則の一部改正	2	昭和63年度全国公務員レクリエーション	
諸会議	4	共同行事富山地区ソフトボール大会	7
学 事	5	海外渡航者	9
富山大学国際交流事業後援会について	5	職員消息	10
人事異動	6	主要行事	11
学内諸報	7		

関係法令

政 令

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (278) 9・27
(注) 総合研究大学院大学と緊密な連係及び協力を行う国立大学共同利用機関を定めた。又、同大学院に置く研究科の名称及び課程を定めることとした。

省 令

- 国際郵便規則の一部を改正する省令 (郵政50) 9・7
○国際電子郵便の取扱いに関する省令の一部を改正する省令(同51) 9・7
○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部35) 9・30
○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(同36) 9・30
○国立大学の評議会に関する暫定措置を定める規則の一部を改正する省令(同37) 9・30

学 内 規 則

富山大学理学部規則の一部改正

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和63年9月16日

富山大学長 大井 信一

富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則(昭和52年5月16日制定)の一部を次のように改正する。

別表の物理学科の関連選択科目の欄中

- 「基礎細胞学|1|」を
「基礎細胞学|2|」に改め、
「資源生物学|1|
環境生物学|2|」を削り、
「生物学実験|1|」の前に
「環境生物学序説|2|」を加え、
「地球科学実験|1|」の次に

「専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。」を加える。

別表の化学科の関連選択科目の欄中

- 「基礎細胞学|1|」を
「基礎細胞学|2|」に改め、
「資源生物学|1|
環境生物学|2|」を削り、
「地球科学実験|1|」の前に
「環境生物学序説|2|」を加え、
「地球化学|2|」の次に

「専攻科目の選択科目のうちからも選択することができる。」を加える。

別表の生物学科の専攻科目の欄中

- 「細胞生物学|3|」を
「細胞生物学|2|」に、
「細胞組織分化学|1|」を

「植物発生学 2」に、  
 「基礎細胞学 1」を  
 「基礎細胞学 2」に改め、  
 「資源生物学 1」を削り、  
 「生態学 2」  
 「陸水学 2」を  
 「生態学 1」  
 「環境生理化学 2」に、  
 「公害科学 1」を  
 「環境科学特論 1」に、  
 「環境生物学特論 2」  
 「環境生物学 2」を  
 「環境生物学 1」  
 「環境生物学序説 2」に、  
 「計 48 | 36」を  
 「計 48 | 34」に改める。

別表の生物学科の関連選択科目の欄中

「地球科学実験 1」の次に  
 「専攻科目の選択科目  
 のうちからも選択す  
 ることができる。」を加える。

別表の地球科学科の専攻科目の欄中

「地球物理学特論 2」を  
 「地球周辺物理学 1」  
 「地球物理学特論 I 2」  
 「地球物理学特論 II 2」に、  
 「物理探査法 1」を  
 「地震学演習 1」に改め、  
 「鉱物学実験 2」を削り、  
 「地球化学特論 2」を  
 「地球化学特論 I 2」  
 「地球化学特論 II 2」に改め、  
 「岩石分析実験 2」を削り、  
 「雲物理学 2」の次に  
 「氷河学 2」を加え、  
 「防雪工学 1」を  
 「雪氷学実験法 2」に、  
 「雪氷学特論 2」を

「雪氷学特論 I 2」  
 「雪氷学特論 II 2」に、  
 「データ処理演習 1」  
 「地球物理学実験 1」  
 「地質学実験 2」<sup>6</sup> 2  
 「水質分析実験 2」  
 「雪氷学実験 2」を  
 「地球物理学実験 2」  
 「地球物理学演習 2」  
 「地質学実験 2」  
 「鉱物学実験 2」<sup>8</sup> 8  
 「水質分析実験 2」  
 「岩石分析実験 2」  
 「雪氷学実験 2」  
 「雪氷学演習 2」に、  
 「計 35 | 76」を  
 「計 37 | 88」に改める。

別表の地球科学科の関連選択科目の欄中

「基礎細胞学 1」  
 「資源生物学 1」  
 「環境生物学 2」を削り、  
 「基礎生理学 2」の次に  
 「基礎細胞学 2」  
 「環境生物学序説 2」を加える。

別表の地球科学科の表中

「専攻必修35単位」を「専攻必修37単位」に、「専攻  
 選択31単位」を「専攻選択29単位」に改める。

附 則

- 1 この規則は、昭和63年9月16日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。
- 2 昭和62年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

▶ 富山大学理学部規則の改正理由

授業科目及び単位数を整理し、教育内容の充実を図るため。

## 諸 会 議

**昭和63年度第2回学園ニュース編集委員会(9月1日)**  
(協議事項)

- (1) 第61号学園ニュースの発行について

**第2回富山大学動物実験指針検討委員会(9月2日)**  
(議 題)

- (1) 富山大学における動物実験に関する指針(案)について

**昭和63年度第7回評議会(9月2日)**  
(審議事項)

- (1) 黒田講堂改築に係る対応について

**昭和63年度第10回補導協議会(9月5日)**  
(審議事項)

- (1) 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭について
- (2) その他

**昭和63年度第11回補導協議会(9月9日)**  
(審議事項)

- (1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について
- (2) その他

**第3回富山大学動物実験指針検討委員会(9月9日)**  
(議 題)

- (1) 富山大学における動物実験に関する指針(案)について

**昭和63年度第6回入学試験管理委員会・第6回入学者  
選抜方法研究委員会合同委員会(9月13日)**  
(審議事項)

- (1) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準について
- (2) 昭和64年度富山大学学生募集要項(案)について
- (3) 昭和64年度私費外国人留学生のための富山大学  
入学志願案内について
- (4) 昭和64年度入学試験合否判定資料の内容につい  
て
- (5) 「大学入試センター試験」の利活用について

**昭和63年度第2回大学院委員会(9月16日)**  
(審議事項)

- (1) 昭和64年度富山大学大学院理学研究科((修士課  
程)及び工学研究科(修士課程)入学試験合格者  
の判定について
- (2) 昭和64年度富山大学大学院工学研究科(修士課  
程)推薦入学者の選考について
- (3) 昭和63年9月富山大学大学院人文科学研究科  
(修士課程)修了者の認定について
- (4) 昭和64年度富山大学大学院人文科学研究科(修  
士課程)学生募集要項について

**昭和63年度第8回評議会(9月16日)**  
(審議事項)

- (1) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学における動物実験に関する指針の制定  
について
- (3) 昭和63年9月卒業者の認定について
- (4) 昭和64年度富山大学学生募集要項について
- (5) 黒田講堂改築に係る対応について

**昭和63年度第1回体育部会(9月19日)**  
(議 題)

- (1) 昭和63年度体育系サークルリーダー研修会につ  
いて
- (2) その他

**昭和63年度第12回補導協議会(9月19日)**  
(審議事項)

- (1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について
- (2) 昭和63年度体育系サークルリーダー研修会につ  
いて
- (3) その他

**第15回将来計画ワーキンググループ会議(9月21日)**  
(検討事項)

- (1) 将来計画仕様書(案)について

**昭和63年度第2回国際交流委員会(9月26日)**

(審議事項)

- (1) 国際交流事業基金による事業計画について

昭和63年度第4回事務協議会（9月30日）

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

昭和63年度第13回補導協議会（9月30日）

(審議事項)

- (1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について
- (2) その他

学 事

富山大学国際交流事業後援会について

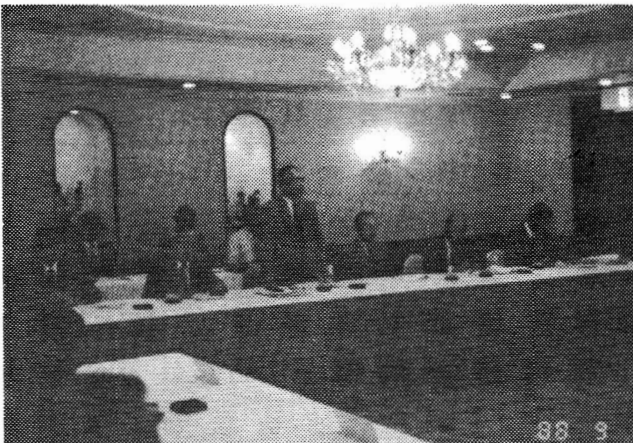
昭和61年9月1日から2か年間にわたり富山大学国際交流事業の促進のため各界各層からの募金を受け付けておりました本後援会は、9月14日（水）に最後の理事会を富山第一ホテルで開催して、集まった募金を本学に寄附すること及び9月1か月間を整理期間とするため9月30日に解散することを承認して閉会しました。この席上本学学長が長い間の御尽力、御協力に謝意を表しました。

なお、募金額、本学への寄附金等については次のとおりです。

富山大学国際交流事業基金募金状況総表

昭和63年9月12日現在

	払込者(社)数	払込金額
企 業	197 社	82,820,000 円
同 窓 会	4,144 名	18,228,500 円
教 職 員 等	578 名	10,281,000 円
合 計	4,919 件	111,329,500 円



(本学関係分)

○同 窓 会	4,144名	18,228,500円
内	人 文 学 部	159名 932,000円
	教 育 学 部	2,559名 8,000,000円
	経 済 学 部	488名 3,238,500円
	理 学 部	237名 1,305,000円
	工 学 部	471名 2,335,000円
	旧制富山高校	222名 2,357,000円
訳	そ の 他	8名 61,000円
○名譽教授等	12名	350,000円
○教 職 員	565名	9,911,000円
内	本 部	121名 1,366,000円
	人 文 学 部	66名 1,195,000円
	教 育 学 部	141名 2,268,000円
	経 済 学 部	50名 1,032,000円
	理 学 部	40名 1,200,000円
	工 学 部	89名 1,823,000円
	教 養 部	32名 750,000円
	訳	附 属 図 書 館
内	ト リ チ ウ ム	2名 40,000円
	科 学 セ ン タ ー	
	経 営 短 期	3名 68,000円
大 学 部		
○そ の 他		
	匿 名	(1名) 20,000円

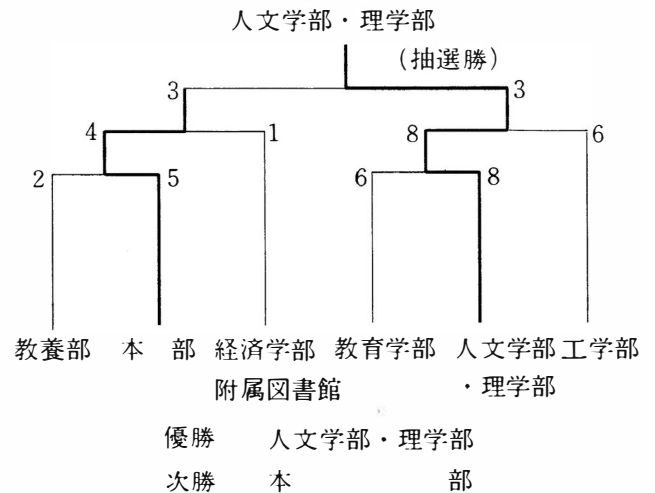
(注) 別に富山県から15,000,000円を富山大学国際交流後援会に受け入れてあります。



学 内 諸 法

学内レクリエーション〈野球大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会野球班主催による昭和63年度部局対抗野球大会が本学グラウンドで実施されました。8・9月の昼休みを利用して熱戦がくり広げられ成績は次のとおりでした。



〈庭 球 大 会〉

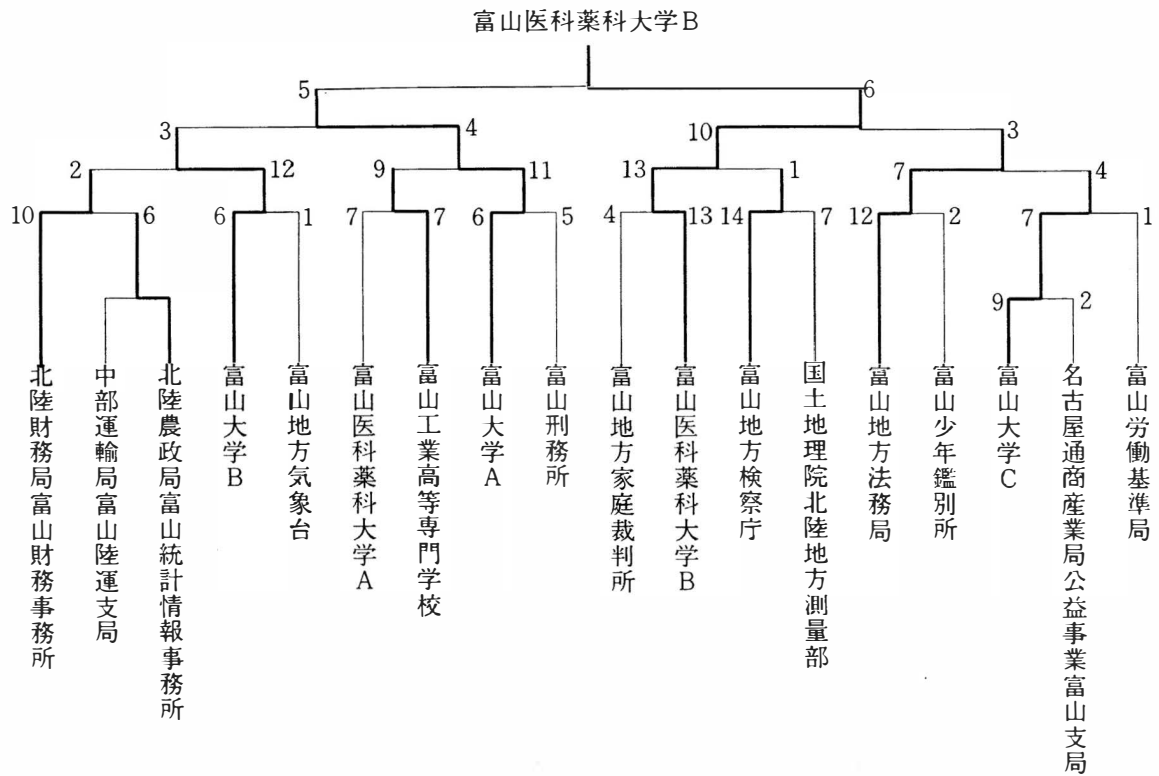
本学レクリエーション委員会体育部会庭球班主催による昭和63年度庭球大会が、去る9月10日(土)及び9月22日(木)に富山大学硬式庭球コートで実施されました。

なお、成績は次のとおりです。  
団体戦(部局対抗)  
優勝 教養部チーム  
次勝 本 部チーム

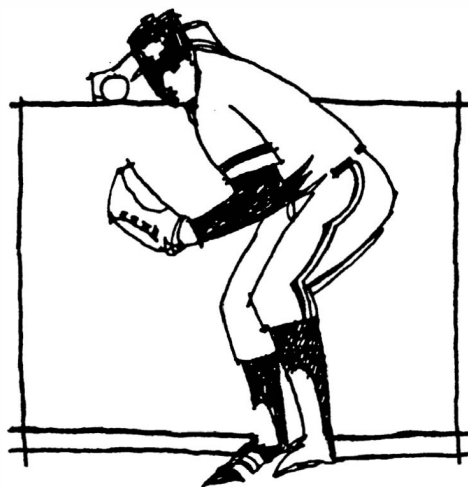
昭和63年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会

昭和63年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が、9月9日(金)常願寺川公園野球場において開催されました。今大会には15事業所から18チームの参加があり、本学からはA、B、Cの3チームが参加しました。

準決勝ではAチームとBチームの対戦となり、Aチームが決勝戦に進出しましたが医科薬科大学Bチームに惜しくも敗れ次勝となりました。  
なお、成績は次のとおりです。



- 優勝 富山医科薬科大学B
- 次勝 富山大学A
- 三位 富山大学B
- 富山地方方法務局





## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	磯部 彰	中華人民共和国	中国地方劇形成史研究上の戯曲文物及び実演状況、文献資料の調査・蒐集	63. 9. 26 } 63. 11. 5
	教育学部	"	清水 建次	"	遼寧大学との学術交流及び電波物性一主として核磁気共鳴実験による金属磁性の研究	63. 9. 1 } 63. 10. 31
	"	教授	加瀬正二郎	連合王国, スペイン, フランス, ドイツ連邦共和国, アメリカ合衆国	応用言語学及び外国語としての英語教育の研究	63. 9. 16 } 63. 11. 15
	理学部	助手	川田 邦夫	ノルウェー, オランダ	国際雪氷学会の「人間の生活状況に関する雪および氷河研究シンポジウム」において研究発表及び北欧における雪崩研究情報の収集	63. 9. 2 } 63. 9. 17
	工学部	教授	加川 幸雄	中華人民共和国	第2回中日境界要素法シンポジウムに出席及び研究資料の収集	63. 9. 27 } 63. 10. 25
	"	講師	村井 忠邦	"	"	63. 9. 27 } 63. 10. 21
海外研修旅行	経済学部	助教授	武井 勲	オーストラリア	国際ビル所有管理者協会(BOMAI)の世界シンポジウムにおける基調講演及びオーストラリアのリスク・マネジメント事情視察	63. 9. 14 } 63. 9. 22
	工学部	"	西村 龍夫	ユーゴスラビア, 連合王国	伝熱, 流体力学, 熱力学の実験に関する国際会議に出席及び研究資料収集	63. 9. 2 } 63. 9. 15
	"	"	坂井 純一	アメリカ合衆国	爆発的太陽フレアに関する国際研究集会に出席及び研究資料収集	63. 9. 24 } 63. 10. 2
	教養部	教授	中越 矩方	フランス, スイス	研究会「数論的アルゴリズム」に出席及び共同研究	63. 9. 11 } 63. 9. 25

職員消息

《新任者住所》

経済学部

講 師 長谷川 隆  
(民事法)

《住所変更》

本 部

学 長 大 井 信 一

教 養 部

助 教 授 佐 藤 清 人  
(英 語)

訃 報



人文学部 梶井 陟教授 逝去

富山大学人文学部教授 梶井 陟先生が、昭和63年9月9日午後富山市民病院で死去されました。

享年61才。

梶井先生は、昭和24年3月東京第一師範学校本科を卒業され、同年同月東京都練馬区立石神井中学校教諭、東京都立朝鮮人中学校教諭、東京都豊島区立西巢鴨中学校教諭、東京都豊島区立朝日中学校教諭、東京都練馬区立貫井中学校教諭などを経て、昭和53年4月、富山大学人文学部教授にご就任、教育と研究に従事されてきました。

先生は、富山大学人文学部に新設された、全国的にも数少ない、朝鮮語・朝鮮文学講座の主任教授としてご就任以来、生来の真面目さと忍耐力をもって同講座の整備充実に日夜精励されました。

更に、先生は、昭和58年5月から同62年5月までの4年間富山大学評議員として、管理運営に参画され、本学の発展に尽力されるとともに、人文学部が永年の懸案であった大学院人文科学研究科(修士課程)の設置にあたっては、学部長の片腕となって内外の折衝にあたられました。

また、外国人留学生、とりわけ韓国からの留学生に対しては、入国から帰国に至るまで、実にきめ細かな世話と熱心な指導に傾注されました。

先生は、人格清廉、資性温厚にして識見高邁、卓越せる教育者、研究者として、昭和24年4月東京都公立学校奉職以来、富山大学と併せて39年有余の永きにわたり、終始、熱意と温情をもって、生徒並びに学生の教育と指導にあたられ、有為な人材を多く育成されま

した。

先生の専門分野は、近代から現代に至る朝鮮文学であり、日本における朝鮮文学、特に、ハングル（朝鮮文字）で記された研究は、戦前戦後を通じて空白の状態でありました。朝鮮人中学校に奉職中、朝鮮人の教育に携るものは朝鮮語を知らずしてはならないという教育的かつ人道的見地から、朝鮮語の習得に心血を注がれ、朝鮮語を熟達されるや、学習上の困難に逢着している者のためにいち早く、「朝鮮語入門」を著述されました。続いて、「新しい朝鮮語の学習」、「わかる朝鮮語」、「朝鮮人学校の日本人教師」、「朝鮮語を考える」、などの著書のほか研究論文として朝鮮近代文学の

歩みのほか多数の論文が公表されており、学会及び広く関係者からも極めて高い評価を得た学術的な業績が数多く残されており、今後も、更に、その研究成果を期待されていただけに急逝されたことは誠に惜しまれてなりません。

今後も、人文学部並びに、大学院人文科学研究科の整備拡充を進めるにあたり、先生のお力をお借りいたさなければならない時に、先生を失ったことは誠に残念でなりません。

ここに、先生のご冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。



### 経済学部 今井晴男教授 逝去

経済学部 今井晴男教授が、昭和63年9月7日膵臓疾患のため逝去されました。

享年56才。

同氏は、同33年3月東京大学大学院数物系研究科数学専門（修士）課程を修了後、同年4月特殊法人日本原子力研究所、同37年1月松下通信工業株式会社、同40年4月文部省統計数理研究所を経て同48年5月本学経済学部助教授に就任され、同54年10月同教授に昇任されました。この間、永年にわたって数学及び統計学の教育・研究に努められ、数多くの有為な人材の育成

に貢献されました。

また、本学に着任以来、経済学部経営学科の創設及び充実に貢献され、更に昭和54年2月からは経済学部コンピュータ管理運営委員会の委員あるいは委員長として、また、同59年11月からは本学情報処理センター運営委員会委員として本学の電子計算機の充実・管理等に尽力されました。

大学の教育研究面及び管理面で有能な先生を失ったことは誠に残念でなりません。

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

## 主 要 行 事

### 本 部

- 9月1日 第2回学園ニュース編集委員会
- 2日 評議会
- 5日 第10回補導協議会

- 6日 第3回入学者選抜方法研究委員会専門委員会
- 5～9日 東海・北陸地区国立学校等会計事務職員研修（於：芦原研修会館）
- 8日 大学院問題検討懇談会（於：福井大学）
- 昭和63年度学生教育研究災害傷害保険説明

- 会（於：名古屋王山会館）
- 9日 第11回補導委員会
- 10日 学内硬式テニス大会
- 12日 第7回学寮補導委員会
- 13日 第6回入学試験管理委員会・第6回入学者  
選抜方法研究委員会の合同委員会
- 14日 国際交流事業後援会理事会  
（於：富山第一ホテル）
- 16日 評議会
- 19日 会計係長会議  
第1回体育部会  
第12回補導協議会
- 20日 消防署査察
- 22日 部局長懇談会  
昭和63年度高等学校長協会と大学との懇談  
会
- 26～
- 10月14日 文部省会計事務特別研修（於：国立オリン  
ピック記念青少年総合センター）
- 27日 共通第1次学力試験成績請求等に係るオン  
ライン化打合せ会（於：金沢大学）
- 28日 健康診断（胃，肝機能）
- 29日 国際交流委員会
- 30日 事務協議会  
部課長会議

## 人文学部

- 9月2日 事務連絡会
- 5日 授業時間割担当者会議  
学部教務委員会
- 6日 教官特別昇給委員会
- 7日 教授会  
人事教授会  
大学院人文科学研究科委員会
- 8日 事務連絡会
- 14日 予算委員会と語学文学科コース代表者との  
合同会議
- 16日 係長会議
- 17～18日 真率会レクリエーション（新穂高）
- 19日 学部施設委員会
- 20日 学部教務委員会  
消防署査察

- 21日 紀要委員会  
教授会  
人事教授会
- 28日 語学文学科建物新営に伴う説明会
- 30日 9月卒業・修了生の卒業証書及び学位記授  
与式

## 教育学部

- 9月1日 附属小学校，附属養護学校第2学期始業式
- 2日 学部職業補導委員会
- 4～6日 昭和63年度教員養成学部学生合宿研修  
（秋季）（於：国立立山少年自然の家）
- 7日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 8日 教授会
- 9日 附属学校（園）予算配分会議  
情報教育課程専門委員会
- 12日 学部予算委員会
- 13日 学部教務委員会  
学部補導委員会  
学部教務・補導合同委員会
- 14日 教授会  
人事教授会
- 20日 消防署査察
- 22日 健康診断（胃，肝機能）
- 24日 情報教育課程専門委員会
- 27日 X線回折装置機種選定委員会
- 28日 人事教授会
- 29日 情報教育課程運営委員会  
X線回折装置機種選定委員会

30～

- 10月1日 日本教育大学協会北陸地区数学部門研究協  
議会（於：新潟大学）

## 経済学部

- 9月1日 授業再開
- 7日 前学期授業終了  
学部入学方法検討委員会  
学部教務委員会  
人事教授会  
教授会

- 9日 防火対策委員会  
 19日 各種委員選考委員会  
 20日 学部補導委員会  
 消防署査察  
 21日 夜間主コース運営委員会  
 学部施設整備委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 28日 学部教務委員会  
 コンピュータ管理運営委員会  
 人事教授会  
 教授会

## 理 学 部

- 9月1日 授業開始  
 2日 事務連絡会  
 7日 教授会  
 8日 学部教務委員会  
 学科主任会議  
 事務連絡会  
 9日 大学院理学研究科入学者選抜調査書審査  
 12～13日 大学院理学研究科入学者選抜試験  
 14日 大学院理学研究科委員会  
 人事教授会  
 学科主任会議  
 前学期授業終了  
 16日 係長会議  
 大学院理学研究科合格者発表  
 17～18日 真率会レクリエーション（新穂高）  
 20日 消防署査察  
 21日 教授会  
 人事教授会  
 26日 学部入学試験改善委員会  
 学部廃水安全委員会

## 工 学 部

- 9月5日 学科主任会議  
 6～7日 大学院工学研究科入学者選抜試験  
 12日 編入学委員会  
 学部図書委員会

- 13日 学部教務委員会  
 14日 教授会  
 工学研究科委員会  
 専任教授会  
 19日 工学部技術職員懇談会  
 20日 消防署査察  
 21日 入学試験検討委員会  
 27日 事故対策委員会

## 教 養 部

- 9月7日 予算委員会  
 教務委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 10～11日 親和会レクリエーション（輪島，中能登方面）  
 12日 端末機の設置に関する検討委員会  
 14日 機種選定委員会  
 前学期授業終了  
 20日 消防署査察  
 21日 将来計画委員会  
 28日 機種選定委員会  
 29日 健康診断（胃，肝機能）

## 附 属 図 書 館

- 9月2日 図書館情報システム打合せ会  
 （於：名古屋大学附属図書館）  
 5日 係長事務打合せ会  
 20日 消防署査察  
 21日 図書館業務電算化ワーキンググループ打合せ会  
 28日 健康診断（胃，肝機能）

## 保健管理センター

- 9月21日 胃及び肝機能検査（工学部，地域共同研究センター 40才以上職員）  
 22日 胃及び肝機能検査（教育学部 40才以上職員）  
 28日 胃及び肝機能検査（本部，経済学部，附属

図書館，保健管理センター，トリチウム科学センター 40才以上職員)

29日 胃及び肝機能検査 (人文学部，理学部，教養部 40才以上職員)

**トリチウム科学センター**

9月6日 R.I健康診断 (於：保健管理センター)

20日 消防署査察

21日 第15回将来計画ワーキンググループ会議

**経営短期大学部**

9月28日 教授会 (持ち回り)

**地域共同研究センター**

9月5日 経営者・研究者交流会打合せ (於：富山技術開発財団)

16日 トロニクスシンポジウム (技術講演会) 第1回エレクトロニクス，オプトエレクトロニクスの展開

題目及び講師

○「電子ディスプレイデバイスの動向」

日本放送協会放送技術研究所

映像デバイス研究部主任研究員

小島健博氏

○「電子分光法とその薄膜評価への応用」

工学部教授 龍山智栄氏

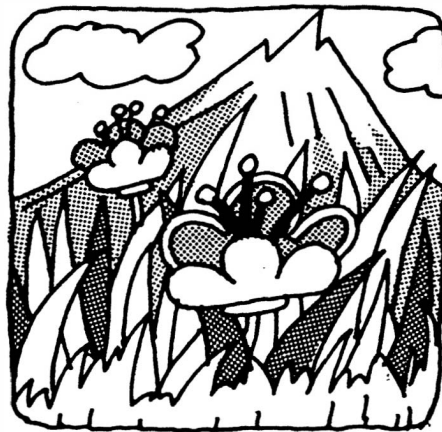
○「光電子集積回路技術の現状と将来」

客員教授 片山良史氏

(光技術研究開発(株)プロセス研究部長)

26日 経営者・研究者交流会第1回実行委員会

(於：富山技術開発財団)



編集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あげぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話 (24) 1755(代)